



チャボトウジュロ

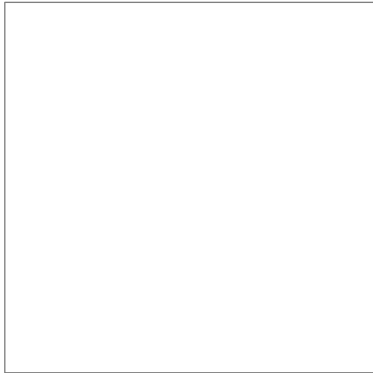
常緑／特殊樹／木本植物／外来種



科名 ヤシ科 (APGⅢ)

特記 遅い、雌雄異株

観葉植物として利用されるが、耐寒性に優れるため地植にも利用される。シュロとは属が異なるが、形状がよく似ているためチャボトウジュロと呼ばれる。雌雄異株で初夏に花をつけ、雌株の実が青黒く成熟する。地中海原産のヨーロッパ唯一のヤシ。流通が少ない希少品種。



Memo

「チャボ」は小型の品種によく付けられる呼称。チャボガヤ、チャボヒバなどにも同様に使われる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期					■							
果	実									■			
紅	葉												
施	肥				■ (成長期に緩効性肥料を少々)								
剪	定	(枯葉の除去)											

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○	○	弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

排水のよい日当たりを好む。幹の上部に掌状に葉をつけるため樹形はまとまりやすく、比較的小面積で納まる。シュロの中では寒さに強く-5℃にも耐えるため、寒冷地で亜熱帯の雰囲気を楽しめる。

剪定

主な作業は垂れ下がった古葉の除去。上へ上へと生長し周囲の古葉がいつまでも残る。枯葉を除去すると、樹形がスッキリして見栄えがよくなる。成長期に緩効性肥料を施すと葉の色合いがよくなる。

病虫害

カイガラムシが付くことがある。